

令和3年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立和霊小学校

1 自己評価書

教育目標 豊かな人間性を培い、たくましく生き抜く和霊の子の育成					
基本方針 和霊教育の歴史と伝統を受け継ぎ、地域に開かれた特色ある教育を推進し、社会の変化に対応できる確かな学力を身に付け、心身ともに健やかで、主体性と実践力と郷土愛を身に付けた児童の育成に努める。					
本年度重点目標 ○ 知的好奇心を高める学びの場や地域での多様な体験を通して、主体的に学び、社会に対応できる確かな学力を身に付けた児童を育てる。 ○ 全教育活動の中で、生命尊重や思いやりの心、郷土を愛する心を育てる。 ○ 基本的な生活習慣の定着と自分の命は自分で守ることのできる態度を育てる。					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成	A	A
			・具体的な対策の実施	A	
	② 授業改善	自ら学ぼうとする意欲を高めるために発問を工夫し、主体的な学びの実現に向けた授業改善に努めた。(受け身の授業からの脱却)	・教師アンケート	B	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	A	
		ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート	C	B
			・児童生徒アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	B	
	一人1台端末(iPad)の効果的な活用を通して、主体的に学びや個に応じた学びの推進に努めた。	・教師アンケート	B	A	
		・保護者アンケート	A		
		・児童生徒アンケート	A		
	③ 家庭学習の充実	授業と連動させた家庭学習の充実に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	D	C
			・保護者アンケート	C	
			・児童生徒アンケート	B	
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心意欲を高め、読書習慣の定着に努めた。	・教師アンケート	D	C
・保護者アンケート			C		
・児童生徒アンケート			B		
⑤ ふるさと学習及びESDに関連する学習	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	D	D	
		・保護者アンケート	C		
		・児童生徒アンケート	D		
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放課後補充学習で、学力向上のためのプリント学習や意欲向上のための学習帳課題などの取組を行ったことがよかった。</li> <li>○ iPadを積極的に活用するよう努め、有効性について考えることができた。更に、効果的な活用の仕方について研修を深めていきたい。</li> <li>○ よい自学ノートをクラス全体に提示することでテーマやレイアウトの方法を全員が参考にできるように工夫した。</li> <li>○ 家庭学習や読書活動については、教師、保護者共に評価が低く、保護者への啓発も含め考えていきたい。</li> <li>○ iPadを活用する機会が増え、児童の健康被害や情報モラルについて考える必要がある。</li> </ul> <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人1台端末で、授業でも家庭でも積極的にiPadに触れることで、児童が操作に慣れてきたことが大きい。教職員も技術的に心配な者もいるが、教師間で教え合い、学び合いながら効果的な活用に仕方について考えられているので、今後は、ICT支援員の協力も得ながら、ICT活用能力の向上を目指したい。授業や業務の中での効果的活用についても考えていく。</li> <li>○ iPadの有効活用の指導と共に、情報モラルについての指導も行い、ルールを守って正しく活用することの大切さを学ばせる。</li> <li>○ ふるさと学習への取組が積極的に行えるように、まずはどのようなことができるのかを話し合い進めていきたい。学校運営協議会でもふるさと学習に関して提案し、地域と協働で行えることはないかなど、具体的に取組めることを考え実践していく。</li> </ul>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	C	B
			・保護者アンケート	C	
			・児童生徒アンケート	A	
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間づくりを努め、心の通う対人交流が深まってきた。	・教師アンケート	B	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	A	
		不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート	A	A
			・児童生徒アンケート	B	
・保護者アンケート			A		
学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見、解決に向けて組織的に取り組んだ。	・教師アンケート	A	A		
	・児童生徒アンケート	A			
	・保護者アンケート	A			

③	基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で取り組んだ。	・教師アンケート	A	B
			・児童生徒アンケート	B	
			・保護者アンケート	B	
④	自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿	B	B
			・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿	B	B
<p>(成果と課題)</p> <p>○ 規範意識の向上に関しては、教師、保護者共に評価が低い。個人差があると感じている者も多く、規範意識の向上を目指して、根気強く丁寧な指導を続けることが大事である。</p> <p>○ 不登校対応やいじめ防止対応については、組織的な取組がなされており、各関係諸機関との連携も良好である。保護者への連絡や家庭訪問なども学級担任や生徒指導主事、専科教員、管理職等と協力して対応できているので、連携を図りながら取り組んでいきたい。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○ ケース会議を行い、対応を検討したい案件があると思われる。不登校・いじめ問題だけでなく、配慮を要する児童の対応について、学級担任一人に任せるのではなく、チームとして共通理解を深めることができる機会を設定する。</p> <p>○ 今後も、児童のよい行いを取り上げ、全体の場で賞賛することを心掛けていく。児童の成長を認め、励ます声掛けをしていく。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	D C	D
	②	働きやすい環境づくり 業務改善に向けて自校の課題を洗い出し、慣例にとらわれることなく積極的に改善に努めた。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート ・教師アンケート	D C	D C
	③	他の教職員のサポート体制の充実 管理職や学年主任、教科主任、生徒指導主事等に対し、必要に応じて報告、連絡、相談を確実にし、問題を一人で抱え込まず組織で対応した。	・教師アンケート	A	A
<p>(成果と課題)</p> <p>○ 時間外勤務を減らすように意識改革に努めたが、解決策が見つからないと悩んでいる職員がいる。個人の問題で終わらせるのではなく、学校全体として改革を行っていく必要がある。</p> <p>○ 時間外勤務80時間を超える教職員ゼロにするためにはどうしたらよいかを考え、働きやすい環境づくりについて具体的な取組を行わないとなかなか改善されない。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○ 業務改善の意識を全教職員が持てるように、学校の課題として意見を出し合う。課題を洗い出して一つずつ改善をしていかないと、超過勤務は改善されない。</p> <p>○ 退庁時刻を意識して、計画的に仕事を進められるような環境にしていく。</p> <p>○ 本校の問題点、改善点を出し合い、実行できるものから取り組んでいくことが大事である。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化 学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めるとともに、全職員の共通理解の下、学校運営協議会の活性化を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	A
	②	情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	A
	③	来校・相談体制 保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	A
<p>(成果と課題)</p> <p>○ 昨年度は、学校運営協議会やコミュニティ・スクールについて教員・保護者・地域に理解されておらず、評価が大変低かったが、今年度は地域コーディネーターに通信を発行していただき、地域や保護者への啓発に努め、周知されてきたように思う。</p> <p>○ ホームページで積極的に情報発信が行えているので、今後もタイムリーに学校の様子や児童の様子を発信していきたい。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○ 保護者の方から、学年によって記事にばらつきがないようにしてほしいという意見があり、できる限り、保護者のニーズにも答えながら情報を発信していく。保護者や地域の方に学校のことや児童のことに関心を持ってもらえるような記事にしていく。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満